

## 7. 文部科学省職業実践能力育成プログラム

### 1) 職業実践能力育成プログラム (BP:Brush up Program for professional) について

職業実践能力育成プログラムとは、平成 27 年 3 月に出された教育再生実行会議提言を受けて、文科省が認定することとした、社会人の職業に必要な能力の向上を図る機会の拡大のための教育プログラムである。「大学、大学院、短期大学及び高等専門学校の正規課程及び履修証明プログラムであること」「対象とする職業の種類及び修得可能な能力を具体的かつ明確に設定し、公表すること」「対象とする職業に必要な実務に関する知識、技術及び技能を修得できる教育課程であること」などが認定要件として示され、それらを満たす実践的・専門的なプログラムを文部科学大臣が認定することにより、①社会人の学び直す選択肢の可視化、②大学等におけるプログラムの魅力向上、③企業等の理解増進、を図り、社会人学び直しを推進することをめざしている。大学の履修証明プログラムとしての要件も満たす必要があるため、講座の修了要件は、所定の科目から選択して 8 科目以上（計 120 時間以上）を履修し試験に合格することである。

### 2) 『多職種連携による保健福祉医療従事者の力量アップのための講座』(本学履修証明プログラム)

本学では平成 28 年度からこの職業実践能力育成プログラムを開講した。池キャンパス 3 学部と 2 研究科の強みを生かし、ケアの必要な高齢者を地域包括ケア制度の中で引きうけていくために、多職種がそれぞれの専門的な知識とチーム力を発揮して、高齢者が可能な限り健やかに暮らしていきける力を支えるための知識、技術、技能を修得する『多職種連携による保健福祉医療従事者の力量アップのための講座』としている。主に修得をめざすのは、(1) 高齢者をアセスメントし、高齢者の自立度に適合したケアを提供する知識と技術、(2) 高齢者と家族の選択を支える知識と技術、(3) 多職種の連携力や事例カンファレンスなどに関する知識と技能である。初年度は 1 名、平成 29 年度は 8 名、平成 30 年度は 0 名の応募があり、令和元年度は 2 名の受講応募があった。

さらに令和元年度からは、厚生労働省教育訓練給付金制度の指定を受け、初の受講者を迎えた。厚生労働省教育訓練給付金制度とは、働く人の主体的で中長期的なキャリア形成を支援し、雇用の安定と再就職の促進を図ることを目的とする雇用保険の給付制度である。一定の条件を満たす雇用保険の被保険者（在職者）、または被保険者であった方（離職者）が、本講座を受講し修了した場合、本人が教育訓練施設に支払った教育訓練経費の一定の割合額（上限あり）がハローワークから支給される制度である。

### 授業科目の概要

科目名	授業時数	担当教員	開講日
高齢者への福祉支援	15 時間	西内章、加藤由衣	9/1・9/2
介護過程実践演習	15 時間	宮上多加子、三好弥生	9/23・9/24
高齢者のフィジカル アセスメント	15 時間	竹崎久美子、小原弘子、原田圭子、 中井美喜子、渡邊美保	11/11・12/2・ 1/13・2/10
認知症患者と家族へ の支援	15 時間	竹崎久美子、塩見理香、 中井美喜子、森下幸子	11/10・12/22
高齢者の食生活と住 環境	15 時間	竹井悠一郎、横井輝夫	11/23・1/26
生活習慣病の治療と 予防	15 時間	島田郁子、竹井悠一郎	9/29・10/7
チームアプローチⅠ	15 時間	山中福子、大熊絵理菜、廣内智子	10/21・10/27
チームアプローチⅡ	15 時間	大熊絵理菜、廣内智子、森下幸子、 竹崎久美子	12/1・1/14
最新看護知識の実践 への活用	15 時間	川上理子	11/11・12/2・ 1/13・2/10
高齢者福祉の現状と 実践のための講 座	15 時間	福間隆康、横井輝夫、田中眞希、 片岡妙子	8/25・12/23

県下の看護師、保健師、介護福祉士、管理栄養士、栄養士の保健・医療・福祉従事者を対象として、関係機関に広報し応募者を募った結果、市内の急性期医療機関で勤務する看護師さん1名ケアマネージャさん1名の応募があった。受講者は少数であったが、科目担当講師や、科目によっては大学院生の聴講も受け入れながら、多職種間での意見交換を通じた相互の理解や協力の力量アップをめざした講座であるよう、展開を工夫して行った。

2名とも120時間の履修要件を修得し、例年通り3月に履修証明書の授与式を計画していたが、新型コロナウイルスの発生を受け、郵送での授与となった。

次年度も受講生の確保に努め、受講生間での多職種連携と相互理解が深められるよう、工夫する必要があると考えている。



**Brush up Program  
for professional**

職業実践能力育成プログラムのロゴ